

ひとよし 市議会だより

第100号



2019 / 平成31年4月1日 発行



今期4年間、議会活動に対するご理解ありがとうございました

主な内容

- ② 3月定例会報告
- ⑤ 市政の内容を問う
～一般質問に14名の議員が登壇～
- ⑪ 議会制度研究会の成果を
報告します
- ⑫ 議会報告会及び意見交換会を
開催しました

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市下城本町1578番地1

☎ 0966-22-2111 (代)

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

3月定例会報告

平成31年3月第1回定例会は2月26日から3月19日までの22日間開催されました。

平成31年度 一般会計予算 165億4,234万1千円 可決 (前年度比 16億7,336万円の減)

平成31年度一般会計予算（歳出）の主なもの

市庁舎建設事業
(新庁舎建設工事、西間別館
改修工事等)



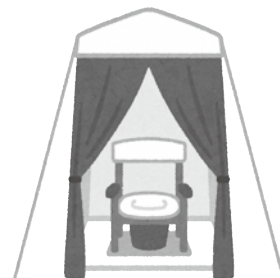
10億4,755万5千円

人吉・球磨
スマート
インター
チェンジ
整備事業



1億2,023万6千円

マンホールトイレ整備事業



1,825万1千円

人 事 案 件

公平委員会委員の選任について同意した方

中島 祐一 氏

総務文教委員会報告

●委員長 大塚 則男 ●副委員長 宮崎 保
●委員 平田 清吉・犬童 利夫・西 信八郎・本村 令斗

人吉東小学校北側ブロック塀改修工事等に係る 専決予算を承認

北側ブロック塀については、地震等により倒壊の恐れがあるため、東側ブロック塀に引き続き早急な改修が必要とされていました。今回、国の第1次補正予算に伴う臨時特例交付金を受け整備するものです。

人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の 一部を改正する条例、その他2件の条例を承認

職員における正規の勤務時間以外の時間における勤務に関し規則で必要な事項を定める条項を追加するため、条例の一部を改正するものです。

平成30年度補正予算を承認

○人吉第一中学校敷地内にマンホールトイレを設置

大規模災害時、水洗トイレが使用できない状況下の避難所において衛生環境を良好に保ち感染症や災害関連死を未然に防ぐため、マンホールトイレ整備計画を策定。6箇所に3カ年で39基整備するものです。今年度は、人吉第一中学校に8基のトイレ整備が行われました。

平成31年度当初予算を承認

総務費においては、一般退職者2名、特別職退職者2名(市長・副市長)の退職金の増、教育振興費では、ICTを活用した教育の推進に不可欠な学校内の無線LANアクセスポイント機器が、すでに9年経過しており、その更新に伴う使用料、賃借料の増、公民館費においては、校区公民館の耐震診断業務委託料の増が主なものです。

○各町内防犯灯設置に予算計上

各町内から平成30年度までに要望が上がっている224基分の防犯灯設置に要する経費720万円について予算計上をしています。なお、この経費については、人吉応援団基金650万円を充当しています。

○肥薩線世界遺産推進関連施設費に1,718万7,000円を計上

人吉鉄道ミュージアム関連の予算として清掃委託料、人吉鉄道ミュージアム管理委託料等が計上されています。この委託料については、平成30年度まで地方創生推進交付金を充当していましたが、3年間の交付期間が終了したことから、平成31年度からは一般財源対応となります。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 永山 芳宏
●委員 塩見 寿子・井上 光浩・三倉 美千子・田中 哲

「損害賠償について」承認

要介護認定調査における歩行能力確認時の転倒負傷に対し賠償を行うものです。執行部に対し、今後このような事故がないよう、慎重に対応することを求めました。

平成30年度一般会計補正予算を承認

それぞれの事業の内訳は、主に入札残や給付費等の決算見込みの減額によるものです。

平成30年度特別会計5件の補正予算を承認

国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険・水道事業・公共下水道事業の補正予算は、歳入歳出それぞれの決算見込みによる減額です。

平成31年度一般会計予算を承認

主なものは、総務費では各分野の事業のシステム更新費やコンビニ交付サービス事業の委託料・使用料などが、民生費では、鍼灸マッサージ補助交付金が29年度から1人12枚を24枚になったことから増加傾向にあり前年度より増額されて計上されています。児童福祉費では、平成31年度から施設型給付に移行する幼稚園を含めた給付費、医療費、児童手当等の扶助費が計上されています。生活保護費は、生活扶助費、医療扶助費、介護扶助費が主なものです。衛生費は各分野の委託料を計上。

この中には、がん検診等各種委託料や特定不妊治療費補助金などが含まれています。清掃費では、浄化槽設置整備事業が国の制度の改正により31年度から補助対象の一部が変更になるが、市民への影響を考慮して国の激変緩和措置を適用して平成31年度は現行のままとし、平成32年度の適用開始に向けて取り組む予定であるとの説明がありました。

平成31年度特別会計6件の予算を承認

特別会計の国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護サービス事業・水道事業・公共下水道事業の当初予算は、前年度予算を踏まえ、市民サービスの低下を招かないように予算計上されています。

慎重に審査した結果、いずれも原案のとおり認めることに決しました。



小永野第一雨水幹線付替工事の状況を視察

経済建設委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮原 将志・福屋 法晴・村上 恵一・仲村 勝治

繁殖肉用牛導入等資金貸付限度額を70万円に改定

人吉市繁殖肉用牛導入等資金貸付基金条例の貸付限度額を改定するものです。

事業開始の年の球磨家畜市場の平均価格は53万7千円だったため、購入に対する1頭当たりの貸付限度額を50万円としておりましたが、近年は平均価格が70万円を推移しているため、貸付上限金額の見直しが必要となったものです。

また、子牛の自家保留に対する貸付金の限度額も35万円から70万円に引き上げられました。

工事請負契約の締結を承認

国道219号（スマートIC整備事業）道路改築工事について、契約金額1億6,688万7,770円で、光進建設株式会社人吉支店と契約を締結するものです。

この工事請負契約は、当初1億4,094万円で締結し、工事を行いました。スマートIC交差点部の盛土工等において、NE XCO西日本との協議により本市の施工となったもの、国道部の埋め戻し材購入により工事費が増となったもの等の増額変更により、2,594万7,770円の増額となり、変更請負額が1億6,688万7,770円となりました。予定価格が1億5千万円以上の工事又は製造の請負は、議会の議決が必要なため、提案されたものです。

委員から、追加工事がわかった時になぜ委員会に説明しなかったのか、議会軽視ではないかといった意見があり、

委員会として執行部に対し、今後このようなことがないよう十分に反省し、早めに説明するよう要望したところで

損害の賠償を承認

平成30年11月28日午後5時10分頃、相手方車両が、市道村山観音道路線を走行中、市道に設置している金網フェンスの一部が外れて道路上にせり出していたため、相手方車両が接触し損傷を与えた事故に関し、和解するものです。賠償の額は、44,938円です。

委員会として執行部に対し、市内のフェンス等の点検を行うよう、また、事故の状況写真については詳細な状況がわかるよう十分に写真を撮影していただくよう要望しております。



市道人吉矢岳線道路補修工事現地視察

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一
●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

第31回を2月27日に開催

市庁舎建設に関する特別委員会の経緯を説明

市庁舎建設に関する特別委員会におけるこれまでの議事について、第1回から第30回までの主な審議内容については、第1回を平成27年9月25日に委員会を設置し、第3回には既存の施設を活用し、事業費を抑制する基本構想見直し案A案(16億円)及びB案(20億円)の説明、平成28年4月発災の熊本地震により方針が転換され、第7回の委員会では堅牢な総合庁舎方式の新庁舎の建設に方針転換。第9回では新庁舎建設に向けての基本設計・実施設計について、第10回では行政視察研修について、第12回では事業費のシミュレーションについて、第13回では庁舎建設設計業務委託業者を山下設計に選出の報告、第14回では地元の建築設計事務所との委託契約

の締結について、第15回では免震構造を選定、第18回では新市庁舎建設基本計画の策定、第19回では市庁舎建設事業に係る継続費の設定について、第21回では庁舎建設設計基本設計について、第24回では進入道路及び青井西間線道路計画、人吉らしさについて、第27回では旧野木場を賃借することと、実施設計報告、第30回では西間別館改修計画案(事業費・エレベーター)と什器整備計画案等について説明報告を受けています。

委員会として、今後については、予定行程が現時点で当初より遅れており、またそれ以上に本体工事着工までには遅れが生じるような状況であるので、執行部においては慎重に進められ、早い入札、落札者を決定して着工に持っていかれることを要望して第31回委員会を閉会しました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保
●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

第18回治水・防災に関する特別委員会を、2月27日に開催し、人吉橋下流左岸改修工事について審議しました。

工事が完成した人吉橋下流左岸の現地視察を行い、現地で国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所の担当者から、工事着工から完成までについて、資料に基づき詳しく説明をいただきました。

堤防については、人吉市での増水時における安全対策として、また、地元地権者の協力があり完成いたしました。

今後、下流の河床掘削や樹木の撤去、監視カメラを設置すること、市との情報共有を行っていくことなどの説明がありました。

最後に委員会のまとめとして、治水・防災に関する特別委員会における、今後の国土交通省九州地方整備局に対する要望活動について、また、委員からの治水・防災に関する特別委員会の存続についての要望を共有し、閉会いたしました。



工 事 前



工 事 後

一般質問

～市政の内容を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

3月定例会では、3月6日から8日までの3日間で14人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画画像がご覧いただけます。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

文化功労者への対応について



村上 恵一



動画視聴

問 国・県の文化功労者に対しての表彰にはどのようなものがあるのか。

答 国では、叙勲や地域文化功労者文部科学大臣表彰、県では、くまもと県民文化賞、熊本県近代文化功労者顕彰などがある。

問 本市の表彰規則は、分野ごとに制定し、各分野で推挙すべきではないか。例えば、文化功労表彰、福祉功労表彰などに規則を分けるべきでは。

答 分野ごとに表彰という形で、功労を称え、光を当てることについては、同じ思いである。そのために新たな表彰の制度が必要か、今の規則でできないかは、検討が必要であらうと思っていますので、提言として受け止めさせていただきます。

迷走する市庁舎建設 市長の責任は？



笹山 欣悟



動画視聴

問 財政調整基金等の枯渇が現実味を帯びてきている中、市庁舎建設と財政状況の折り合いをどうつけていくのか。

答 新市庁舎建設後の財政状況がいかにあるべきかをしっかりと見据え、既存事業の調整等による財源確保を図りながら、どう進めていくのかを、ぶれることのないかじ取りを行うことが市長の使命と感じている。

問 今回の入札の不調、不落に対する責任はどう考えるか。

答 この状況が長引くことに対しては、真摯に申し訳なく思うところであり、一刻も早く不調、不落の原因を究明し、事業費の精査を行い、建設着工にこぎつけることが、市民皆様への責任を果たすことになるかと考える。



本市消防団の現状と 防災サポーターについて



豊永 貞夫



動画視聴

問 年々減少している本市消防団だが、出初式での放水競技の安全性や、地域間の団員数格差などの課題がある。組織再編を視野に入れた検討時期が来ていると考えるが本市の考えは。

答 放水競技の安全性や消防団再編については、消防団長や消防団のご意見をお聞きしながら協議を重ねてまいりたい。

問 防災サポーター発足から5年が経過し、課題が見えてきたと思うが今後の活動内容は。

答 指揮系統の明確化とリーダーの設置、連絡体制の確立を進めていき、大規模災害に限らず、避難勧告や指示が発令された場合の避難支援を行う。

※その他、非常勤職員の現状と新婚生活支援について質問しました。

介護サービスの利用料に助成を他



本村 令斗



動画視聴

問 千葉県船橋市では、介護サービス利用料の4割を助成している。人吉市でもできないか。今後研究していきたい。

答 市庁舎建設で総事業費や実質負担額が変わった場合は、どの段階でも広報ひとよし等で市民に公表するべきではないか。

問 市民への周知に努めたい。

答 球磨川の土の堤防を、越水対策がなされた堤防に強化されるよう求めるべきではないか。

問 流域市町村と連携を図りながら、球磨川の治水安全度の向上の要望を行っていききたい。

答 山形県鶴岡市は、運動の中心にウォーキングを取り入れ、市民の医療費削減につながった。この取り組みを研究すべきでは。

問 先進地を参考に検討したい。

鉄道ミュージアムの 今後の運営は？



宮原 将志



動画視聴

問 平成31年度以降、国からの交付金が入ってこなくなるが、今後の財源確保の考えは。

答 入館料による収入策等について検証を行いながら、効果的な収入の増加に取り組む。

問 鉄道ミュージアムの今後の運営方針は。

答 指定管理者制度などの民間の力を活用した運営について検討を重ねている。

問 ICカードやスマートフォンで手続きを行い、複数のサイクルポートで自転車を利用できるシェアサイクルの導入の考えは。

答 観光面や地域公共交通を補完するものとして、またIoT促進による地域課題の解決や経済活性化も期待できるので、導入の可能性について検討を始める。

人吉市営住宅の 鳥獣被害と対策は



福屋 法晴



動画視聴

問 人吉市営住宅立野団地入居者の生活に、ハトのフンによる被害は。また空室の現況と対策は。

答 空室については、防鳥ネット張りや定期的なフンの清掃作業を行っている。

問 鳥獣被害については、駆除の許可は現在熊本県から市町村長に権限委譲されているので、申請を行えば駆除及び卵の撤去ができるのでは。

答 今後、現地調査を初め住民と協議を行い安心・安全な生活の確保に努め、検討をしていきたい。

※その他、瓦屋町鶴亀橋近隣の危険な道路の改修工事、人吉梅園梅まつり会場舞台に雨天対策として屋根の設置、石野公園古民家改修の取り組みについて質問しました。

鉄道ミュージアムについて



宮崎 保



動画視聴

問 年間入館者数は。

答 28年度が8万5010人、29年度が11万2454人である。

問 30年度で地方創生推進交付金は最終年度となるが、年間の赤字はかなりの額になっている。健全な運営を行うためにも入館料を徴収する必要があると考えるがどうか。

答 入館料による収入増加を図るべきではないかとさまざまな提言をいただいた。附帯施設の料金改定と合わせて検討を重ねてきたが、総合的に判断して附帯施設の料金改定が最善であると考え改定した。今後は、収益を伴ったイベントの開催などによる収益増加策や指定管理者制度導入による経費節減などの検討を進めていく。

新市庁舎建設について



平田 清吉



動画視聴

問 新市庁舎建設における国からの災害復旧支援事業の期限は。

答 入札不落・不調等により事業が延伸しても、一般単独災害復旧事業債の対象外となることはなく、明確な期限はないと確認。

問 新市庁舎建設は、百年に一度の大事業。市内の事業者並びに県立球磨工業高校生等の建設技術確立のため、出前講座や見学会等を開くことはできないか。

答 実施設計デザイン検討の際に、球磨工業高校とのコラボを検討している。安全に配慮して現場見学会・研修会等を開催したい。

問 入札不落並びに将来の人口減少を見据え、今一度、新市庁舎建設工事における基本設計及び事業費の見直しの考えはないか。

答 見直しは、合理性に欠ける。



市長の選挙公約及び
新市庁舎建設について



高瀬 堅一



動画視聴

問 選挙公約の、新市庁舎建設は「白紙撤回の白紙撤回」をすることになりその後迷走し続けた。さらに「給食費の全額補助」の公約は実現していないがなぜか。

答 方向性を導き出し、公約の理念に変わりない。ただし、見直しになったことについては市民にお詫びする。「給食費の全額補助」は財政負担面で断念した。

問 新市庁舎の入札の不調不落で緊急の「市議会全員協議会」に市長はなぜ出席しなかったのか。不思議である。議会軽視、市民不在の対応となるがいかがか。

答 業務を担当する部長や課長が報告することは、市長が言うことと何ら変わりがないと考える。

※その他、市民荣誉賞授与で「なぜ今なのか」等も質問しました。

御溝川二次放水路治水対策の
進捗状況は



大塚 則男



動画視聴

問 御溝川下流域の治水対策として計画された二次放水路について、昨年より地権者、地域住民に対し説明会が開かれているが、着工に向けた用地取得の状況は。また地域住民に対して、安心安全対策についての考えは。

答 多数の地権者からご協力いただき事業地の大半を取得している状況。安心安全対策については、転落防止などのため、防護柵を設置する予定である。

問 二次放水路は、通常水流はないものと考えていいか。万江川排水口は自動なのか、手動なのか。二次放水路はどこが管理するのか。

答 洪水時のみの運用で通常時の水流はない。自動、手動あわせて検討している。管理は熊本県。

国における幼児教育の
無償化について



西 信八郎



動画視聴

問 今年10月から実施される幼児教育無償化制度では、一律に副食費は保護者の負担となり、生活保護世帯など無料であった世帯の負担増とはならないのか。

答 この制度では、生活保護世帯や市町村民税所得割合算額が一定基準以下の世帯及び、ひとり親世帯の第2子以降の子供、並びに多子世帯軽減により第3子以降の子供に関しては負担なし。また、年収360万円相当の世帯においても第1子から副食費の免除がなされる予定。

問 保育士の処遇改善に対し、市としての対応は。

答 県が毎年実施する社会福祉施設監査に立ち会い、処遇面での監査の際には経過を見守りつつ、状況に応じて情報提供等を行う。

上下水道料金引き下げと 国保の子供均等割



塩見 寿子



動画視聴

問 消費税10%の負担軽減のため、上下水道料金をせめて増税分でも引き下げる考えはないか。

答 水道事業では、原城配水池の改築等施設の更新事業に建設改良積立金や繰越利益剰余金を取り崩して進める。下水道事業では、老朽化施設の改築・更新等で運営は厳しい。よって増税分の引き下げは困難である。

問 国民健康保険での一人当たり均等割額はいくらか。

答 医療給付費分が2万4900円、後期高齢者支援金分が8400円、合計3万3300円。

問 収入のない子供にも均等割を課すことをどう思うか。

答 国の基準に従って軽減措置を行っているので、適正に適用されていると認識している。

改正水道法と ふるさと納税等について



犬童 利夫



動画視聴

問 改正水道法や水道施設及び水道管等の耐震化などについては。

答 本市の水道事業は可能な範囲での個別の業務委託による経費削減が現実的と判断。老朽化の更新と水道管の耐震化のバランスを図りながら着実に進めたい。

問 人吉インター周辺の店舗や事業所などに人吉観光パンフレット等、設置できないか。

答 インター付近に観光情報を手でできる場所がないので「観光べんり処推進事業」も参考に対策を講じていく必要がある。

問 ふるさと納税寄附金の使途は。また、体験プランと宿泊をセットにした返礼品の導入の考えは。

答 小学生の学力向上や地域の防犯灯の設置等。宿泊をセットにした返礼品を導入したい。

企業誘致の現状、課題は



井上 光浩



動画視聴

問 若者が都市部に流出するのは、地元に関心があっても生涯年収が違うから。企業誘致の具体的な取り組みは。

答 地元にも意欲ある企業は数多くあるが、さらに幅広い雇用の創出という観点からも企業誘致は特効薬になる。市民アンケートでは75%が「企業誘致は必要」と回答している。重要施策として中核工業団地の整備に取り組んでいく。

問 2020年度に会計年度任用職員制度が導入された場合、現在の年齢制限を撤廃する考えは。

答 「新地方公務員法第28条の2第4項に基づく非常勤職員」に当たり定年制は適用されず、募集に当たり年齢制限を設けることは適切ではない。



…平成31年3月定例会の議案等の議決結果…

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度 人吉市一般会計補正予算(第7号))	原案承認	議第14号	平成31年度 人吉市水道事業特別会計予算	原案可決
議第2号	平成30年度 人吉市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	議第15号	平成31年度 人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議第3号	平成30年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第16号	平成31年度 人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決
議第4号	平成30年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第17号	人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第5号	平成30年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第18号	人吉市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第6号	平成30年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第19号	人吉市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第7号	平成30年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第20号	人吉市繁殖肉用牛導入等資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第8号	平成31年度 人吉市一般会計予算	原案可決	議第21号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第9号	平成31年度 人吉市球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決	議第22号	損害の賠償について	原案可決
議第10号	平成31年度 人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	議第23号	損害の賠償について	原案可決
議第11号	平成31年度 人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	議第24号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第12号	平成31年度 人吉市介護保険特別会計予算	原案可決	議第25号	平成30年度 人吉市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議第13号	平成31年度 人吉市介護サービス事業特別会計予算	原案可決			

…平成31年3月定例会の請願・陳情等の議決結果…

付託委員会	件 名	議決結果
経済建設委員会	農道整備(拡幅・舗装)に関する陳情書	継続審査
経済建設委員会	最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度および、開かれた最低賃金審議会のあり方を求める陳情	継続審査
総務文教委員会	大畑駅の給水塔を国鉄時代の史料館として使用するための許可を求める陳情書	継続審査

議員別表決 …「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案番号	議員氏名 議案	塩見	宮原	高瀬	大塚	宮崎	平田	犬童	井上	豊永	西	本村	笹山	福屋	村上	永山	三倉	仲村	田中
		寿子	将志	堅一	則男	保	清吉	利夫	光浩	貞夫	信八郎	令斗	欣悟	法晴	恵一	芳宏	美千子	勝治	哲
議第17号	人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	／

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 ／：議長は表決に加わりません

議会制度研究会報告

今期（平成27年5月～平成31年4月）の議会制度研究会は、平成27年7月2日に、第1回を開催しました。これまで、21回にわたり開催し、議会を取り巻くさまざまな課題について検討してきました。その内容と成果等につきましては、次のとおりです。

1 人吉市議会報告会及び意見交換会

平成23年1月から実施してきており、今期も引き続き実施いたしました。4年間で計4回実施し、延べ92人の皆様にご参加をいただきました。

2 議会だよりへの議員別表決結果の掲載

各議員の議案への賛否の態度を明らかにするため、賛否が分かれた議案について掲載することとし、平成28年5月15日発行の議会だよりから掲載しています。

3 「人吉市議会災害対応指針」及び「人吉市議会災害対応連絡会議設置要綱」の制定

平成28年4月に発生した熊本地震の体験を踏まえ、大規模災害時における議会の対応のあり方を制度化したものです。

指針では、災害対応の基本方針、災害が発生したときの議員・議会の対応（議員の安否の確認、災害情報の提供、議員による避難所支援などの共助の取り組み等）を定め、要綱では、会議設置の判断基準、会議のメンバー、会議の役割などについて定めています。

4 『人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱』の制定

「人吉市議会報告会及び意見交換会」は全議員参加のもとで行ってきましたが、これとは別に、3常任委員会（総務文教委員会・厚生委員会・経済建設委員会）ごとにテーマを決めて市民の皆さんと意見交換会を行うために制定いたしました。

これまで、農業委員会を初めとして、5つの団体の皆さんと意見交換会を行い、要望いただいたことが、実現した事例もありました。

5 議員定数について

本市議会の今までの定数の推移、類似団体の現状などを調査し、検討を重ねてまいりました。また、全議員からアンケートをとり、その結果、「委員会審査において多くの意見が必要である」、「減らすとチェック機能が弱まる」、「市民の声が届かなくなる」といった、増やす、現状維持とする意見や「人口減少や財政状況を考慮すると削減するべきである」などのさまざまな意見がありました。

市民の皆さまに議員の必要性をもっと理解していただくことが大事であり、慎重に検討した結果、来期の議員定数については現状維持の18人とするものといたしました。



平成30年度 議会報告会 及び 意見交換会を開催しました

開催日時：平成31年2月2日(土) 午後2時 開催場所：人吉市総合福祉センター



人吉市議会では、市民の皆様に対し議会情報を提供するための一環として、日ごろの議会活動の状況を報告するため、今回9回目となる「人吉市議会報告会及び意見交換会」を開催しました。ご参加いただきました皆様には、お忙しい中、ご来場いただきありがとうございます。会場でいただいた貴重なご意見やご要望は、市議会としまして、今後の議会活動の参考とさせていただきます。

会場でいただいたご意見・ご要望(アンケート含む)

- 人口減少対策について、市と議会がどのような議論をしているのか教えてほしい。
 - 町内会や民生委員の活動など高齢化が進んでいる。人口減少対策について紹介してほしい。
 - 執行部から委員会のほうに説明を受けて、委員会のほうから市に対して、何か意見等を行っているのか。
 - 参加者が、質問しやすい仕組みをつくってほしい。
 - 報告書の読み上げの内容になりがちであるため、課題等がしっかり伝わるような内容にしてほしい。
 - 議会だよりの文字を、もう少し大きくしてほしい。
 - 議会報告会開催についての周知がまだ足りないのではないか。参加者が少ない。
 - 各委員会の報告があり、議会を身近に感じた。
 - 議員から市に具体案を示す必要があるのではないかと。
 - 議会だよりと同様の報告・説明では意味がない。議会報告会・意見交換会のあり方、やり方を考える必要があるのではないか。
 - 報告資料に、活動実績を併記していただくと、さらに良い報告会になると考える。
 - 議会の内容を市民へ伝えるすばらしい機会なので、より広報を充実させると良いと思った。
 - 議会だよりの延長でなく、特に重点を置いた議事や、どのような人吉市へしたいのかが分かる報告会にしてほしい。
 - 質疑応答の際、結果が出るものではなく、議員の個人的な考えを聞きたかった。
 - 女性の参加がもう少し多くなれば良いかなと思った。
- ※他にもさまざまにご意見等をいただきました。

編集後記

今期最後の「議会だよりがくしくも100号を迎えることができました。第1回発行が、平成6年7月でした。当時は議員数が24名で、高速道路の人吉・えびの間の加久藤トンネルが開通した年でありました。発行にあたっての議長言葉に、「市民の皆様から議員の議会での活動が、十分に見えないという意見があり、議会活動を理解してもらえるように、分かりやすい、親しみの持てる議会だよりにしたい」と抱負を語っておられます。当時の議員からは、いかに分かりやすく、興味をもってもらえるか奮闘したとあります。私たち先輩議員の思いを引き継ぎ発行にあたっていました。いかがだったでしょうか。後を次の選良に期待して。

(文責：田中 哲)



次の定例会は
6月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委員／高瀬 堅一・大塚 則男・豊永 貞夫・本村 令斗・笹山 欣悟・永山 芳宏